

## POINT

1. 高強度コンクリート製のため、耐久性に優れています。
2. ボックスカルバートの諸性能(強度・寸法・品質etc)が試験によって保証されています。
3. 現場作業を大幅に省力化する事ができ、施工の迅速化が図れるため、早期の交通開放が可能です。
4. 長方形断面もあり、狭い用地幅でも効果的な水路断面の構築が可能です。
5. 浅い土被りでも使用できるため、掘削深さを抑える事が可能です。
6. 現場打ちボックスカルバートに比べて部材厚が薄く軽量であり、地盤に対して有利に働きます。
7. ボックスカルバートの下面が平らなので、据え付けが容易です。
8. 剛性管のため埋め戻しも容易です。
9. 橋梁の対抗案としても提案できます。

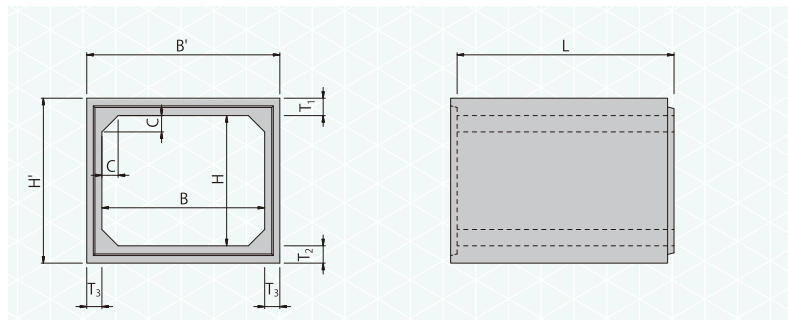
▶ ボックスカルバート

# RCボックスカルバート

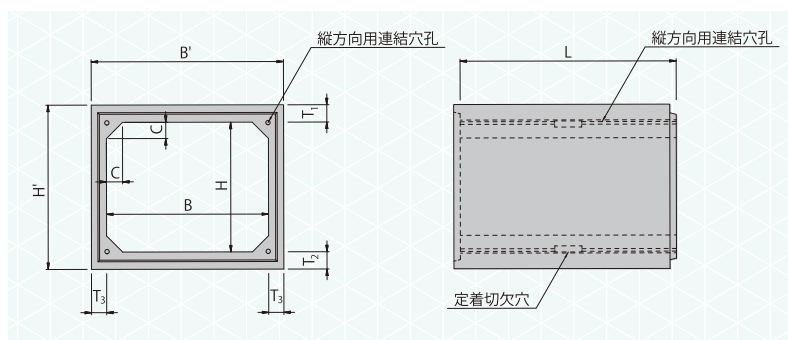
## 用途

道路下に埋設される下水道、水路および道路(歩行者、車両等を対象)。

## 通常敷設型



## PC鋼材による縦方向連結型



次のような場合はボックスカルバートの縦方向の連結を行うのが望ましいとされています。

- ① 地下水位が高く止水を考慮する場合。
- ② カルバートの縦方向に荷重が大きく変化する場合。
- ③ 地盤が良くない場合。
- ④ 基礎地盤の支持力が変化する予測される場合。
- ⑤ 耐震構造でPC鋼材が必要な場合。

※ なお、曲線部や、屈折部の場合は、ボルトによる連結方法によるものとします。

## 継手部分の形状

(a)内空寸法の小さい場合

(b)内空寸法の大きい場合



## ▶ ボックスカルバート RCボックスカルバート

### RCボックスカルバートの種類 (全国ボックスカルバート協会)

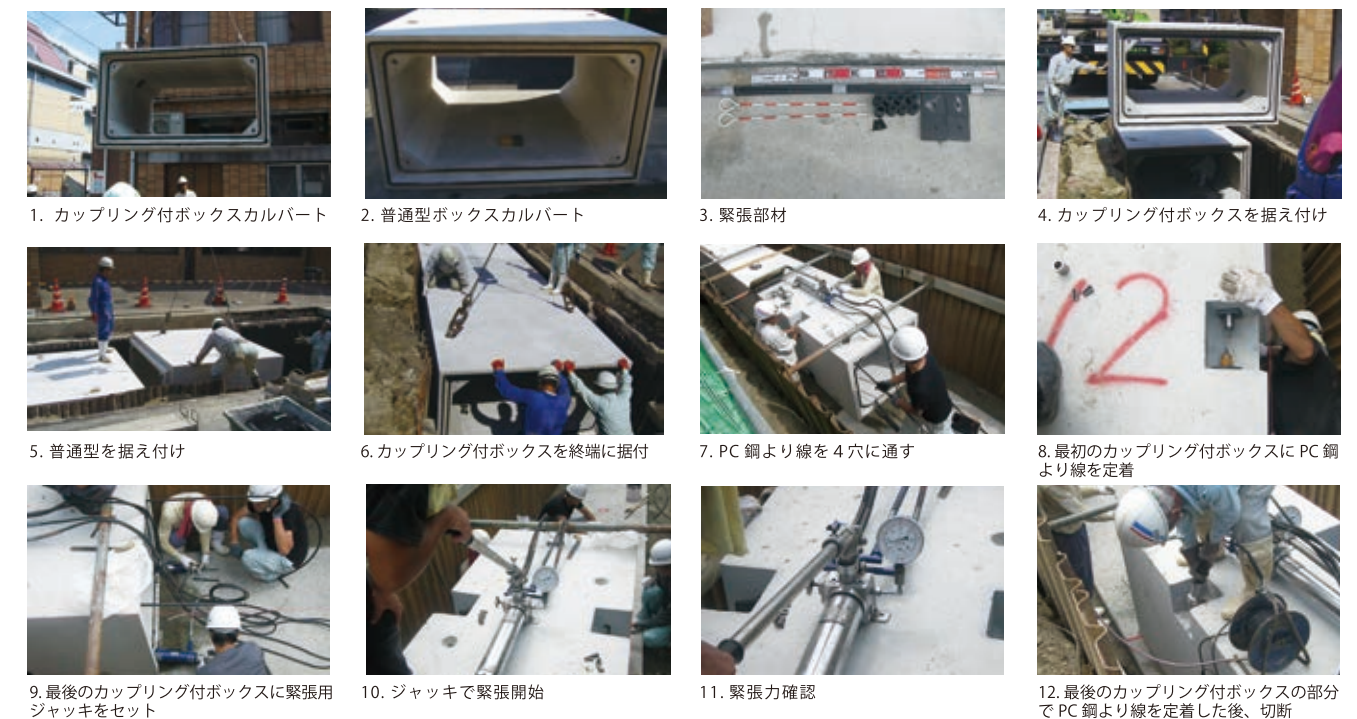
外圧強さによる区分		土被りの範囲(基準)	
種類	呼び寸法(mm) 内幅×内高	活荷重を考慮する場合	活荷重を考慮しない場合
RC-1種	600×600~3500×2500	0.2m~3.0m	0m~3.0m
RC-2種	900×900~3500×2500		

注1.ボックスカルバートの外圧強さによる区分は、1種製品と2種製品があります。1種、2種とも形状寸法、許容応力度法による設計における適用土被りの範囲等は同じですが、2種については、主としてコンクリート用膨張混和材を使用し、1種よりもひび割れ強度が大きくなっています。  
2.上記土被り範囲外で使用する場合は別途構造計算を行います。お問合せください。

## 施工例



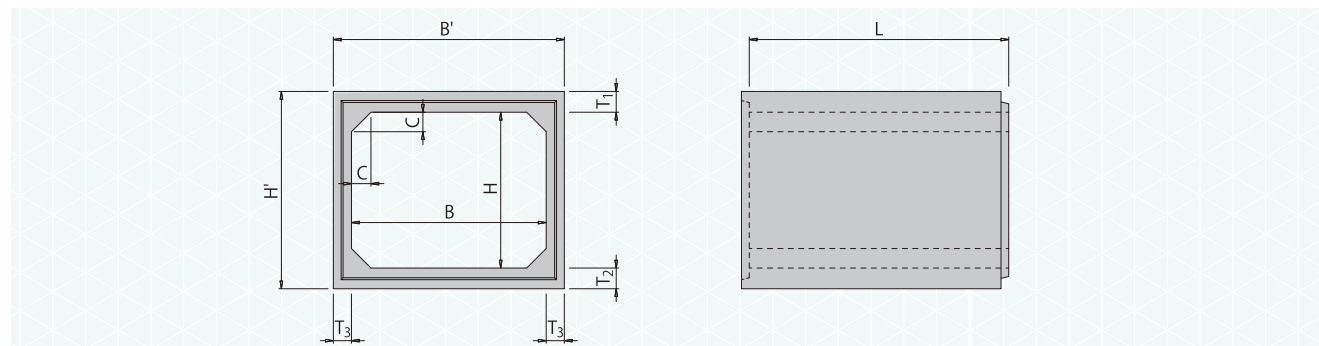
## 緊張作業手順





## 全国ボックスカルバート協会規格

### 形状



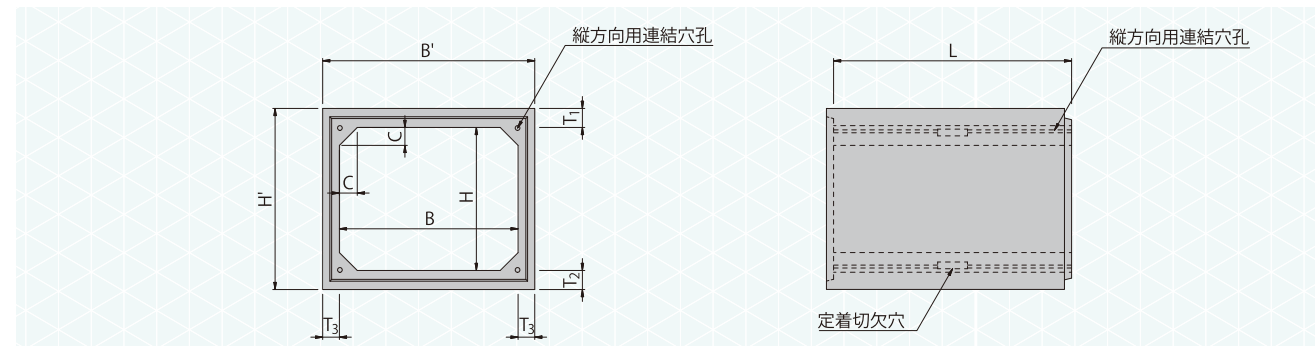
### 寸法・重量表

呼び寸法 B × H	内幅×内高	外幅 B'	外高 H'	有効長 L	厚さ T1 T2 T3			ハンチ高 C	参考重量 kg/本	許容土被りT-25 m
600 × 600		860	860	2000	130	130	130	100	2000	0.2 ~ 3.0
700 × 700		960	960	2000	130	130	130	100	2260	
800 × 800		1060	1060	2000	130	130	130	100	2520	
900 × 600		1160	860	2000	130	130	130	100	2390	
900 × 900		1160	1160	2000	130	130	130	100	2780	
1000 × 800		1260	1060	2000	130	130	130	150	2900	
1000 × 1000		1260	1260	2000	130	130	130	150	3160	
1000 × 1500		1260	1760	2000	130	130	130	150	3810	
1100 × 1100		1360	1360	2000	130	130	130	150	3420	
1200 × 800		1460	1060	2000	130	130	130	150	3160	
1200 × 1000		1460	1260	2000	130	130	130	150	3420	
1200 × 1200		1460	1460	2000	130	130	130	150	3680	
1200 × 1500		1460	1760	2000	130	130	130	150	4070	
1300 × 1300		1560	1580	2000	140	140	130	150	4100	
1400 × 1400		1660	1700	2000	150	150	130	150	4540	
1500 × 1000		1780	1320	2000	160	160	140	150	4470	
1500 × 1200		1780	1520	2000	160	160	140	150	4750	
1500 × 1500		1780	1820	2000	160	160	140	150	5170	
1800 × 1200		2100	1540	2000	170	170	150	150	5600	
1800 × 1500		2100	1840	2000	170	170	150	150	6050	
1800 × 1800		2100	2140	2000	170	170	150	150	6500	
2000 × 1500		2320	1860	2000	180	180	160	200	6980	
2000 × 1800		2320	2160	2000	180	180	160	200	7460	
2000 × 2000		2320	2360	2000	180	180	160	200	7780	
2200 × 1800		2560	2200	1500	200	200	180	200	6570	
2200 × 2200		2560	2600	1500	200	200	180	200	7110	
2300 × 1500		2660	1900	1500	200	200	180	200	6320	
2300 × 1800		2660	2200	1500	200	200	180	200	6720	
2300 × 2000		2660	2400	1500	200	200	180	200	6990	
2300 × 2300		2660	2700	1500	200	200	180	200	7400	
2400 × 2000		2780	2420	1500	210	210	190	200	7530	
2400 × 2400		2780	2820	1500	210	210	190	200	8100	
2500 × 1500		2900	1940	1500	220	220	200	200	7340	
2500 × 1800		2900	2240	1500	220	220	200	200	7790	
2500 × 2000		2900	2440	1500	220	220	200	200	8090	
2500 × 2500		2900	2940	1500	220	220	200	200	8840	
2800 × 2500		3240	2980	1500	240	240	220	200	10260	
2800 × 2800		3240	3280	1500	240	240	220	200	10750	

呼び寸法 B × H	内幅×内高	外幅 B'	外高 H'	有効長 L	厚さ T1 T2 T3			ハンチ高 C	参考重量 kg/本	許容土被りT-25 m
3000 × 1500		3480	2020	1500	260	260	240	300	10160	0.2 ~ 3.0
3000 × 2000		3480	2520	1500	260	260	240	300	11060	
3000 × 2500		3480	3020	1500	260	260	240	300	11960	
3000 × 3000		3480	3520	1500	260	260	240	300	12860	
3500 × 2000		4000	2620	1500	310	310	250	300	13730	
3500 × 2500		4000	3120	1500	310	310	250	300	14660	

## 全国ボックスカルバート協会規格 類似品

### 形状



### 寸法・重量表

呼び寸法 B × H	内幅×内高	外幅 B'	外高 H'	有効長 L	厚さ T1 T2 T3			ハンチ高 C	参考重量 kg/本	許容土被りT-25 m
700 × 500		960	760	2000	130	130	130	100	2000	0.2 ~ 3.0
700 × 600		960	860	2000	130	130	130	100	2130	
800 × 600		1060	860	2000	130	130	130	100	2260	
900 × 800		1160	1060	2000	130	130	130	100	2650	
1000 × 600~900		1260	860~1160	2000	130	130	130	150	2640~3030	
1000 × 1500		1320	1780	2000	140	140	160	150	4470	
1100 × 600		1360	860	2000	130	130	130	150	2770	
1200 × 600~1400		1460	860~1660	2000	130	130	130	150	2900~3940	
1200 × 1500		1520	1780	2000	140	140	160	150	4750	
1300 × 500		1560	780	2000	140	140	130	150	3060	
1300 × 800		1560	1080	2000	140	140	130	150	3450	
1400 × 900~1300		1660	1200~1600	2000	150	150	130	150	3890~4410	
1500 × 700		1780	1020	2000	160	160	140	150	4050	
1500 × 800		1780	1120	2000	160	160	140	150	4190	
1500 × 900		1780	1220	2000	160	160	140	150	4330	
1500 × 1400		1780	1720	2000	160	160	140	150	5030	
1600 × 1600		1900	1940	2000	170	170	150	150	5860	
1800 × 1300~1700		2100	1640~2040	2000	170	170	150	150	5750~6350	
1900 × 800		2220	1160	2000	180	180	160	200	5680	
1900 × 1000~2600		2220	1360~2960	2000	180	180	160	200	6000~8560	
2000 × 800		2320	1160	2000	180	180	160	200	5860	
2000 × 1000		2320	1360	2000	180	180	160	200	6180	
2000 × 1200		2320	1560	2000	180	180	160	200	6500	
2000 × 1300		2320	1660	1000	180	180	160	200	3330	
2100 × 600		2460	1000	2000	200	200	180	200	6400	
2200 × 1500		2560	1900	1500	200	200	180	200	6170	
2200 × 1600		2560	2000	1500	200	200	180	200	6300	
2200 × 1700		2560	2100	1500	200	200	180	200	6440	
2300 × 1600~2200		2660	2000~2600	1500	200	200	180	200	6450~7260	
2400 × 1000~2300		2780	1420~2720	1500	210	210	190	200	6100~7960	
2500 × 700~1400		2900	1140~1840	2000	220	220	200	200	8180~9580	
2500 × 1900		2900	2340	1500	220	220	200	200	7940	
2800 × 1500~2800		3240	1980~3280	1500	240	240	220	200	8610~10750	
3000 × 1600~2900		3480	2120~3420	1500	260	260	240	300	10340~12680	
3300 × 1500		3780	2020	1500	260	260	240	300	10750	
3500 × 1500~1900		4000	2120~2520	1500	310	310	250	300	12790~13540	

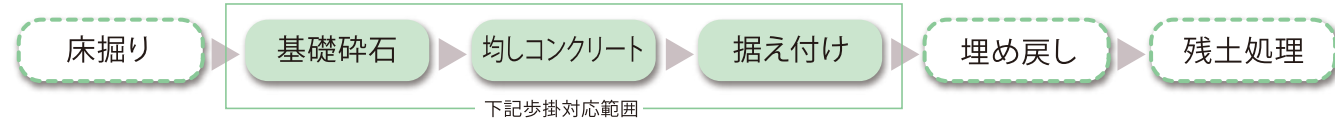
呼び寸法 B × H	内幅×内高	外幅 B'	外高 H'	有効長 L	厚さ T1 T2 T3			ハンチ高 C	参考重量 kg/本	許容土被りT-25 m
1200 × 1200		1560	1600	2000	200	200	180	150	5510	0.0 ~ 8.0
1800 × 1800		2300	2400	1500	300	300	250	200	8850	0.0 ~ 8.0
3000 × 2000		3600	2760	1000	380	380	300	200	10040	0.0 ~ 6.5
4000 × 1000		4500	1700	1500	350	350	250	300	14360	0.2 ~ 3.0
4000 × 3000		4500	3700	1500	350	350	250	300	18110	0.2 ~ 3.0

※製品価格についてはお問い合わせ下さい

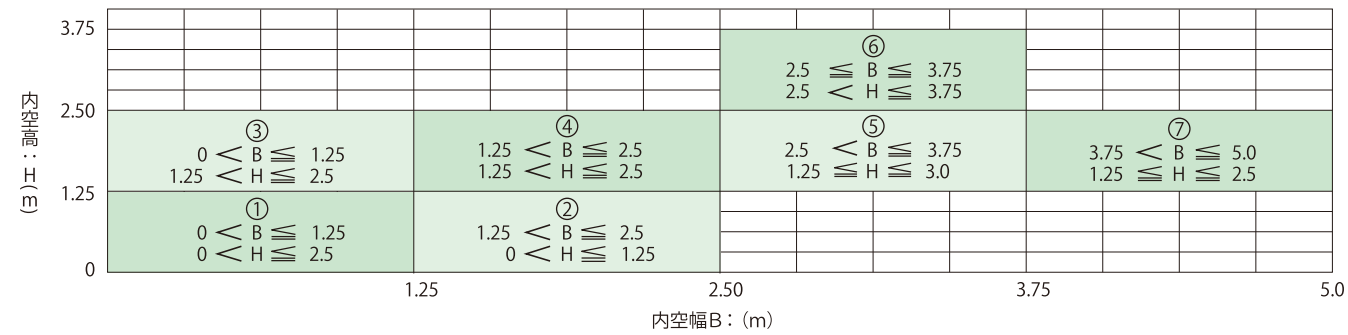
## 標準積算歩掛：国土交通省土木工事積算基準準拠 全国ボックスカルバート協会規格

全国ボックスカルバート協会規格及び協会準拠のボックスカルバート据え付け作業に適用します。

### ボックスカルバート施工フロー



### 歩掛区分



### ボックスカルバート据え付け歩掛

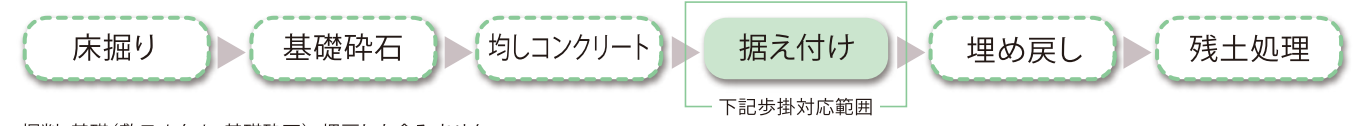
製品長	歩掛区分	土木一般世話役	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	ラフテレーン クレーン賃料(日)	雑工種率(%)		諸雑費(%)
						基礎砕石	均しコンクリート	
2.0m/個	①	0.6 (0.8)	0.4 (0.5)	1.3 (1.7)	0.3 (0.3)	28 (23)	52 (43)	11 (13)
	②	0.9 (1.3)	0.5 (0.8)	1.8 (2.8)	0.4 (0.4)	37 (27)	88 (63)	
	③	1.1 (1.9)	0.7 (1.2)	2.4 (3.9)	0.6 (0.6)	27 (19)	56 (40)	
	④	1.3 (2.5)	0.9 (1.6)	3.0 (5.1)	0.8 (0.9)	29 (19)	69 (47)	
	⑤	1.5 (3.1)	1.1 (2.0)	3.6 (6.2)	1.0 (1.2)	32 (21)	82 (55)	
1.5m/個	②	1.2 (2.3)	0.8 (1.4)	2.5 (4.7)	0.5 (0.5)	27 (16)	64 (38)	7 (6)
	④	1.6 (2.7)	1.0 (1.7)	3.3 (5.7)	0.6 (0.6)	22 (14)	53 (34)	
	⑤	2.5 (3.9)	1.6 (2.5)	5.2 (8.1)	0.9 (0.9)	23 (16)	60 (41)	
	⑥	3.7 (5.4)	2.3 (3.4)	7.7 (11.2)	1.3 (1.3)	14 (11)	38 (28)	
	⑦	5.0 (7.0)	3.1 (4.3)	10.0 (14.4)	1.7 (1.8)	18 (14)	28 (22)	
1.0m/個	⑤	3.2 (4.6)	2.0 (3.0)	6.7 (10.0)	1.5 (1.7)	17 (14)	44 (34)	6 (6)
	⑥	5.1 (6.7)	3.0 (4.2)	10.7 (14.7)	2.2 (2.5)	12 (10)	28 (24)	
	⑦	7.0 (8.7)	4.1 (5.4)	14.7 (19.3)	3.0 (3.5)	13 (11)	20 (18)	

(注)

- 凡例
- 欄左 ( )書き: PC鋼材を使用しない場合(ボックスカルバートの据え付け)
- 欄右 ( )書き: PC鋼材による縦連結の場合(ボックスカルバートの据え付け+PC鋼材による縦締め)
- 本歩掛で対象としている製品は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートです。
- 歩掛は、運搬距離30m程度までの現場内小運搬を含むものであり、床掘り、埋め戻し、残土処理は含まれません。
- PC鋼材、定着金具は別途必要量を計上してください。
- 縦締め歩掛は、直線部にのみ適用します。
- 雑工種および諸雑費は、労務費及び賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上してください。  
なお、雑工種および諸雑費に含まれる内容は次のとおりです。  
▼雑工種(基礎砕石)/敷設・転圧労務、材料投入・締め固め機械運転経費、碎石等材料費
- 雑工種(均しコンクリート)/打設・養生・型枠製作・設置・撤去労務、電力に関する経費、シュート・ホッパー・バイブレータ損料、コンクリート、養生材、均し型枠材料費
- 諸雑費/レバーブロック・油圧ジャッキ(ポンプを含む)・グラウトポンプ・ミキサーの損料、敷モルタル・目地モルタル・グラウト材等の材料費
- 基礎砕石の敷き均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮してください。
- 雑工種における材料は、種別・規格に関わらず適用できます。
- 本歩掛には、均しコンクリート型枠施工時の剥離材塗布およびクレーン作業を含みます。

## 標準据付歩掛：下水道新技術推進機構

### ボックスカルバート施工フロー



据削、基礎(敷モルタル、基礎砕石)、埋戻しも含みません。

### ボックスカルバート据え付け歩掛

1個当たり長さ	1個当たり重量(t/個)	土木一般世話役	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	トラック クレーン賃料(日)	諸雑費(%)
1000	1~2 未済	0.6 (1.5)	1.7 (3.5)	1.5 (3.1)	0.4 (0.4)	2 (3)
	2~4 "	0.8 (1.7)	2.3 (4.4)	1.9 (4.0)	0.6 (0.6)	
	4~6 "	1.2 (2.2)	3.7 (6.0)	3.3 (5.6)	1.0 (1.0)	
	6~8 "	1.7 (2.8)	5.1 (7.6)	4.6 (7.1)	1.4 (1.4)	
	8~10 "	2.2 (3.4)	6.5 (9.2)	6.0 (8.7)	1.8 (1.9)	
	10~12 "	2.7 (4.0)	7.9 (10.8)	7.4 (10.3)	2.2 (2.2)	
	12~14 "	3.0 (4.4)	8.7 (11.7)	8.1 (11.2)	2.5 (2.5)	
	14~16 "	3.3 (4.8)	9.5 (12.6)	8.8 (12.1)	2.8 (2.8)	
	16~18 "	3.5 (5.1)	10.2 (13.4)	9.4 (12.9)	3.0 (3.0)	
1500	1~2 "	0.4 (1.1)	1.3 (2.7)	1.1 (2.4)	0.3 (0.3)	1 (5)
	2~4 "	0.6 (1.3)	1.9 (3.4)	1.6 (3.1)	0.5 (0.5)	
	4~6 "	0.9 (1.7)	2.6 (4.3)	2.3 (4.0)	0.8 (0.8)	
	6~8 "	1.1 (2.0)	3.4 (5.3)	3.1 (5.0)	1.0 (1.0)	
	8~10 "	1.4 (2.4)	4.2 (6.3)	3.7 (5.8)	1.3 (1.3)	
	10~12 "	1.6 (2.7)	5.0 (7.2)	4.4 (6.7)	1.6 (1.6)	
	12~14 "	1.9 (3.1)	5.8 (8.2)	5.1 (7.6)	1.8 (1.8)	
	14~16 "	2.2 (3.5)	6.7 (9.2)	5.8 (8.5)	2.1 (2.1)	
	16~18 "	2.5 (3.9)	7.6 (10.2)	6.5 (9.4)	2.4 (2.4)	
2000	1~2 "	0.2 (0.6)	0.5 (1.3)	0.4 (1.3)	0.2 (0.2)	1 (7)
	2~4 "	0.3 (0.8)	1.0 (2.0)	0.8 (1.8)	0.3 (0.3)	
	4~6 "	0.5 (1.1)	1.6 (2.8)	1.4 (2.6)	0.5 (0.5)	
	6~8 "	0.7 (1.4)	2.2 (3.6)	2.0 (3.4)	0.6 (0.6)	
	8~10 "	1.0 (1.8)	2.8 (4.4)	2.5 (4.1)	0.8 (0.8)	
	10~12 "	1.3 (2.2)	3.4 (5.2)	3.1 (4.9)	1.0 (1.0)	
	12~14 "	1.5 (2.4)	3.9 (5.8)	3.5 (5.5)	1.2 (1.2)	
	14~16 "	1.7 (2.6)	4.4 (6.4)	3.9 (6.1)	1.4 (1.4)	
	16~18 "	1.8 (2.7)	4.8 (6.9)	4.2 (6.6)	1.5 (1.5)	

欄左側: 通常敷設型(PC鋼材を使用しない場合)

- 歩掛は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートの据え付け歩掛であり、PC鋼材による縦締め歩掛りは含まれません。
- 敷モルタル、敷砂は別途必要量を計上してください。
- 諸雑費は、レバーブロック損料であり、労務費、トラッククレーン賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上してください。
- 上表は直線部の歩掛であり、曲線部については上表の50%増しとします。

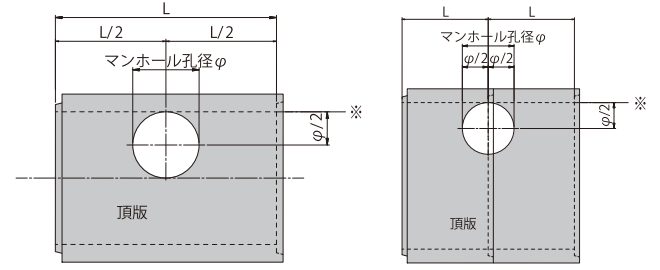
欄右側 ( )書き: 縦方向連結型(PC鋼材による縦連結の場合)

- 歩掛は、1ブロックを1部材で構成するボックスカルバートの据え付け歩掛とPC鋼材による縦締め歩掛りです。  
縦締め歩掛とは、PC鋼材の組立て、挿入、緊張からグラウト注入までの一連作業とします。
- 敷モルタル、敷砂、PC鋼材、定着金具は、別途必要量を計上してください。
- 上表は直線部の歩掛であり、曲線部については上表の50%増しとします。
- 諸雑費は、レバーブロック、油圧ジャッキ(ポンプを含む)・グラウトポンプ・ミキサーの損料およびグラウト材の費用であり、労務費、トラッククレーン賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上してください。

## 異形製品の形状寸法

### マンホール用ボックスカルバート

マンホール用ボックスカルバートの基本形状寸法は、標準製品と同様ですが、頂版に設けるマンホール孔の位置ならびにマンホール孔径と製品の有効長との関係は、以下に示すとおりとします。



**製品の有効長とマンホール孔径との関係**

(単位: mm)

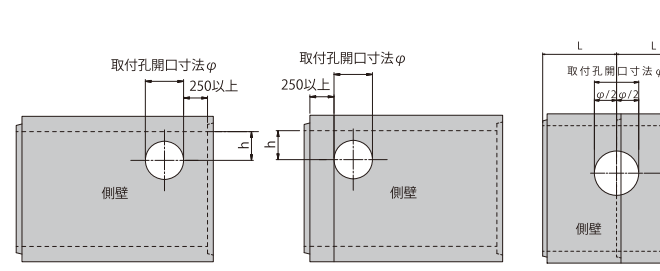
有効長 (L)	マンホール孔径 φ	
	製品1本に対してマンホール孔を形成する場合	製品2本にわたってマンホール孔を形成する場合
2000	600, 900	600, 900
1500	600	600, 900
1000	—	600, 900

(注)呼び寸法800×800以下のボックスカルバートのマンホール孔径は、製品の有効長にかかわらず600mmとする。

(注) ※の位置は、通常敷設型については側壁の内面とし、縦方向連結型についてはハンチの先端を標準とします。

### 取付管用ボックスカルバート

取付管用ボックスカルバートの基本形状寸法は、標準製品と同様ですが、側壁に設ける取付孔の開口部の位置、形状及び寸法は、以下に示すとおりとします。



**製品の有効長と取付孔の開口寸法との関係**

(単位: mm)

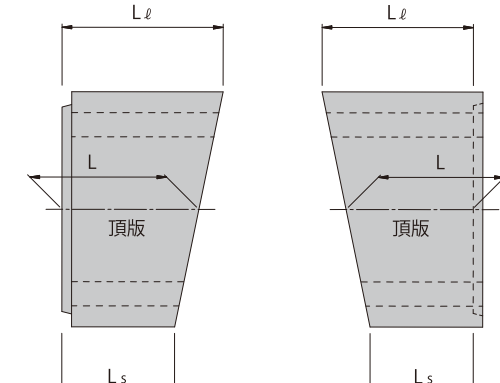
有効長 (L)	取付孔開口寸法 φ	
	製品1本に対して取付孔を形成する場合	製品2本に対して取付孔を形成する場合
2000	Φ900以下	Φ1500以下
1500	Φ700以下	Φ1350以下
1000	Φ400以下	Φ900以下

(注)開口部と製品端部との距離は、250mm以上あることを原則とします。製品端部より250mm以内にやむを得ず開口を設けなければならない場合は、上表の範囲内寸法でコの字型に開口し、製品端部を残す事は不可能となります。

(注) hの寸法は、現地の取付高さに合わせるものとするが、縦方向連結型についてはハンチを避けた位置に取付孔を設けることとします。

### 斜角ボックスカルバート

斜角ボックスカルバートは、以下に示す形状とし、表に示す斜角の長辺および短辺の長さの範囲を標準とします。



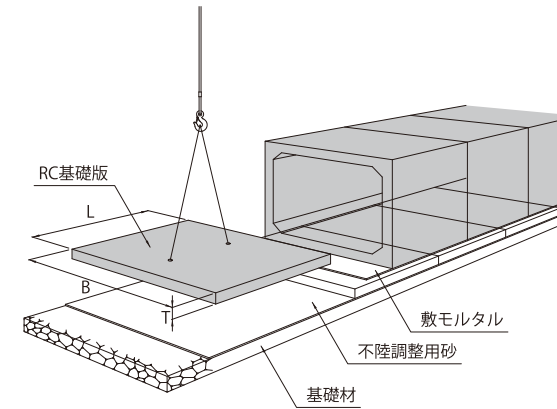
**片斜角の長辺および短辺の長さの範囲(RC)**

(単位: mm)

有効長 (L)	Lℓ / Ls の範囲	Lℓ ・ Ls の範囲	
		最小値	最大値
2000	1.8以下	600以上	製造方法に準じる
1500	1.8以下		
1000	1.5以下		

## RC基礎版

### POINT



- 現場作業を大幅に省略化することができ、施工の迅速化が図れるため、早期の交通解放が可能です。
- 現場にて生コン打設を行わないため、周囲の環境に対して影響を少なくすることが可能です。

(単位: mm)

ボックスカルバート呼称	寸法(mm)			参考重量(kg)
	B	L	T	
600×600	1060	2000	100	530
700×700	1160			580
800×800	1260			630
900×600	1360			680
900×900				
1000×800	1460			730
1000×1000				
1000×1500				
1100×1100				
1200×800	1660		150	1170
1200×1000		1250		
1200×1200				
1200×1500				
1300×1300				1320
1400×1400		1400		
1500×1000	1980	1490		
1500×1200				
1500×1500				
1800×1200			2300	1730
1800×1500				
1800×1800				
2000×1500	2520	1890		
2000×1800				
2000×2000				
2200×1800	2760	2070		
2200×2200				
2300×1500	2860	2150		
2300×1800				
2300×2000				
2300×2300				
2400×2000				
2400×2400	2980			
2500×1500	3100	2330		
2500×1800				
2500×2000				
2500×2500				
2800×2500			3440	
2800×2800				
3000×1500	3680	2760		
3000×2000				
3000×2500				
3000×3000				
3500×2000			4200	3150
3500×2500				

(注) L寸は現場に対応した加工が可能です。横断暗渠、L型擁壁についても対応可能です。上表にない寸法への対応も可能です。お問い合わせ下さい。





**POINT**

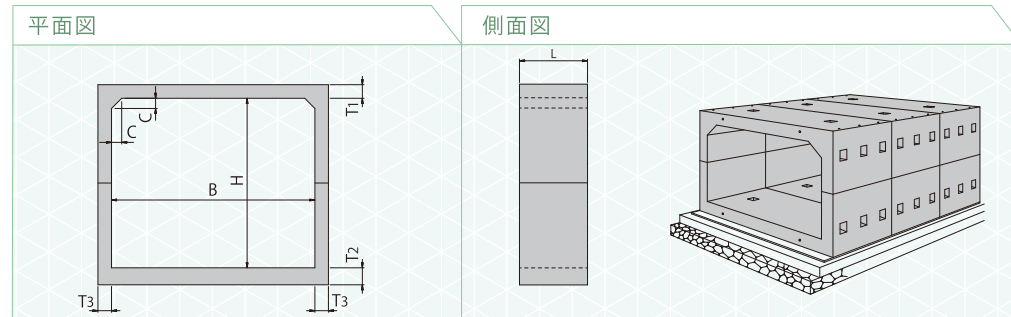
1. 工場で分割作成した各部材を現場で組み立てて施工するボックスカルバートです。
2. 現場の設計条件によって部材厚・配筋を決定する事で、経済性を考慮した製品です。
3. 現場での高所作業が少なく、未然に工事災害を防ぐため、作業の安全性が大幅に高まります。
4. 現場での鉄筋組み立てや型枠及び支保工の設置・撤去が無く、省力化と工期短縮が期待できます。

▶ ボックスカルバート

# 二分割 ボックスカルバート

形状図

Bは500  
Hは100ピッチで  
製作可能です。



寸法表

土被り	呼称 (B × H)	製品寸法(mm)						セット重量 (ton)
		T1	T2	T3	C	L		
1m	4000 × 3000	300	300	300	300	1495	17.4	
	4000 × 4000	300	300	300	300	1495	19.6	
	4000 × 5000	300	300	300	300	1495	21.9	
	4500 × 3000	300	300	300	300	1495	18.5	
	4500 × 4000	300	300	300	300	1495	20.7	
	4500 × 5000	300	300	300	300	1495	23.0	
	5000 × 3000	300	300	300	300	1495	19.6	
	5000 × 4000	300	300	300	300	1495	21.9	
	5000 × 5000	300	300	300	300	1495	24.1	
	5500 × 3000	300	300	300	300	1495	20.7	
2m	4000 × 3000	300	300	300	300	1495	17.4	
	4000 × 4000	300	300	300	300	1495	19.6	
	4000 × 5000	300	300	350	300	1495	24.0	
	4500 × 3000	300	300	300	300	1495	18.5	
	4500 × 4000	300	350	300	300	1495	21.7	
	4500 × 5000	350	350	350	300	1495	27.0	
	5000 × 3000	350	350	300	300	1495	21.7	
	5000 × 4000	350	350	300	300	1495	24.0	
	5000 × 5000	350	350	350	300	1495	28.3	
	5500 × 3000	350	350	350	300	1495	24.4	
3m	4000 × 3000	300	350	300	300	1495	18.2	
	4000 × 4000	300	350	300	300	1495	20.5	
	4000 × 5000	350	350	350	300	1495	25.7	
	4500 × 3000	350	350	350	300	1495	21.8	
	4500 × 4000	350	400	350	300	1495	25.4	
	4500 × 5000	350	400	400	300	1495	30.1	
	5000 × 3000	350	400	350	300	1495	24.2	
	5000 × 4000	350	400	350	300	1495	26.8	
	5000 × 5000	350	450	400	300	1495	32.6	
	5500 × 3000	400	450	400	300	1495	29.3	

L寸法は有効長であり、実寸法は5mmを考慮した長さになります。上表以外の型枠によって二分割ボックスカルバートで製作可能な製品もあります。お問い合わせ下さい。

▶ ボックスカルバート 二分割ボックスカルバート

施工手順

① 基礎コンクリート施工。



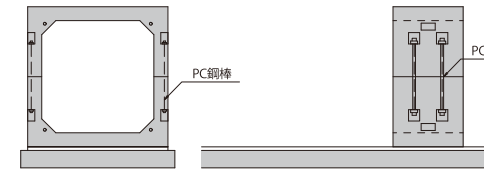
② 敷モルタル施工。



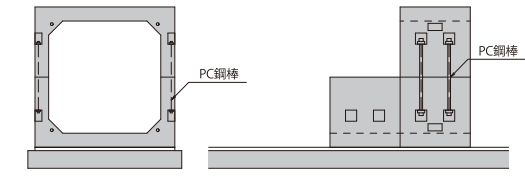
③ 1列目底部部据付。



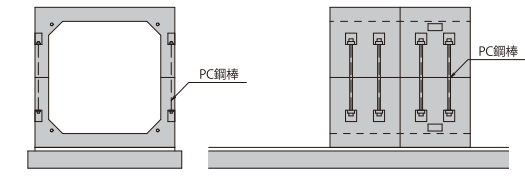
④ 1列目頂版部設置。  
PC鋼棒による鉛直方向緊張。



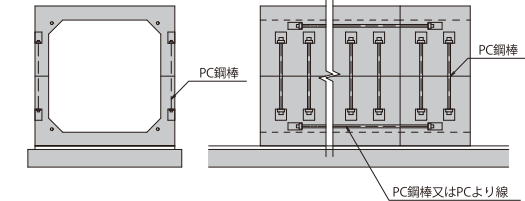
⑤ 2列目底部部据付。



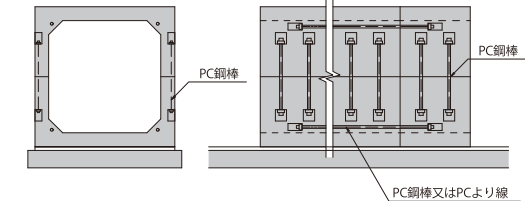
⑥ 2列目頂版部設置。  
PC鋼棒による鉛直方向緊張。



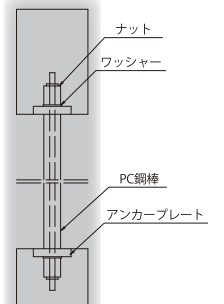
⑦ 以後、据付～鉛直方向緊張を繰り返し、  
所定スパンにて縦締め緊張。



⑧ 以後、据付～縦締め緊張を繰り返し、  
施工完了。



定着部詳細図



施工例



新製品

L型擁壁

積張ブロック

ボックスカルバート

側溝・道路用製品

樹・マンホール

スラブ

その他